

近代京都の〈被差別空間〉

部落・在日・遊廓と経済的差別

瀧本哲哉 著

A5 判上製 392 頁 定価：4800 円 + 税

ISBN 978-4-8140-0617-5 C3036

刊行予定：2025 年 9 月上旬 条件：新刊委託

読者対象：専門

おすすめの棚：社会学・日本史

おすすめ度：★★★★☆

◎ 差別＝経済的不利益を解明する画期的成果

近代の被差別部落、在日朝鮮人集住地、遊廓は、差別が固定され可視化される空間であった。社会秩序に組み込まれていた「差別」は被差別者の人としての尊厳を著しく損うだけでなく、労働市場での排除や賃金差別、遊廓での収奪などの多大な経済的不利益を強いていた。両大戦間期の京都を中心に、それらの空間の中で生き抜いた人々に対する経済的差別の実態を社会経済史の視点から解明する画期的研究。

◆ 瀧本哲哉：京都大学 博士（経済学）

【学術選書 122】

なぜ人口が減っても 水はきれいにならないのか？

武田育郎 著

四六判並製 260 頁 定価：2200 円 + 税

ISBN 978-4-8140-0618-2 C1351

刊行予定：2025 年 9 月中旬 条件：新刊委託

読者対象：一般

おすすめの棚：環境・選書

おすすめ度：★★★★☆

◎ 30年の観察から見た川と環境のいま

人口の増加が川の水質の悪化を引き起こしたなら、人口が減少すれば水はきれいになりそうである。しかし、実際には、人口減少にともない農地や肥料が減ったとしても、川の水は必ずしもきれいになるとは限らない。なぜか？ 30 年以上にわたり川の表情を観察してきた著者が、地圏・水圏・大気圏をめぐる水の循環と物質循環を軸に、その謎に迫る。

◆ 武田育郎：島根大学生物資源科学部環境共生科学科 教授

注文書 7月号

お申込みは→京都大学学術出版会

FAX:075-761-6190

番 線 印	冊	新 刊 委 託 指 定	京都大学学術出版会 発行／発売 近代京都の〈被差別空間〉 【8/15 締切】 ISBN 978-4-8140-0617-5 C3036 定価：本体 4800 円 + 税
	ご担当様		
番 線 印	冊	新 刊 委 託 指 定	京都大学学術出版会 発行／発売 【学術選書】 なぜ人口が減っても 水はきれいにならないのか？ 【8/25 締切】 ISBN 978-4-8140-0618-2 C1351 定価：本体 2200 円 + 税
	ご担当様		